

誰もが安心して働き続けられる 社会と職場をつくろう

人間らしい暮らしには
時給1500円が必要

ついででは、静岡県立大学短期大学部の中澤秀一准教授の「最低賃金1500円をめざして〜ひとりひとりが人間らしく〜」と題した記念講演がありました。

全国的に統計をとった最低賃金によって、全国どこでも最低賃金は時給で1500円が必要であるという根拠として示されました。また、「時給1500円」と聞けば「高すぎる」とも思われるが、1日8時間の週休2日制で働いた場合の月収は24万円、年収になると280万円ほど。これがわかれば、「時給1500円は普通」という考えになることが紹介されました。

非正規労働者の願いに 応えていない法改正

非正規労働者の実態アピールでは、大阪自治労連関連連評の幹事有志がフリップをめくりながら地方公務員法・地方自治法の改正について説明し、「いつでも雇止め」「いつまでも非正規」の職員がますます増えると、自治体の役割がはたせなくなる」と訴えました。そして争議などの報告では、吹田市非常勤職員雇止め撤回裁判闘争、守口市の学童保育の民間委託にかかわる訴えがありました。

第21回パート・非常勤・ヘルパー・派遣労働者のつどい



ついでに登壇した関連連評の有志

雇い止めは許さない ワーキングプアをなくそう

10月14日、天王寺区民センターで「ストップ貧困 新たな一歩を！私たちのめざす『働き方改革』で」をスローガンに、「非正規も正規もあつまれ!! 第21回パート・非常勤・ヘルパー・派遣労働者のつどい」が開催され、180人が参加しました。



「もりぐちの学童保育を守るつどい」には200人以上が集まりました。(10月29日)



「支援するつどい」で決意を語る原告の藤井さん(10月23日)

最高裁での逆転勝利 めざし引き続きご支援を



吹田関連労働組合
丹羽 博子さん

原告2人が職場を追われ5年になります。大阪地裁・高裁の不当判決に対して、吹田市労連としても、原告と共に最高裁へ上告を決

め、全国の非正規の仲間のためにも、最後までたたかい抜く決意です。

吹田では、市議会主導で「非常勤職員全体の給料を下げろ」の攻撃がかかっています。住民のための市政を取り戻すためにも、裁判闘争の支援を引き続きお願いします。

学童保育の民間委託で 指導員の首切りはやめて



守口市職労
延山 知美さん

西端市長は、50年間公設公営で行ってきた学童保育を民間委託する方針を出しました。パブリックコメントは854通も寄せられ、

その多くが民間委託に反対する意見だったのですが方針は変わらず、保護者説明会では指導員91人の雇用を守ることも約束されました。

市職労は守口市学童保育連絡協議会や地域のみなさんと一緒に、「市の直営のまま学童保育の拡充を求める」署名運動などをひろげています。

秋の組織・共済拡大期間

非正規職員の声をあつめて 仲間を増やそう!

大阪府職労 病院職場の「無期雇用転換」説明会で加入相次ぐ



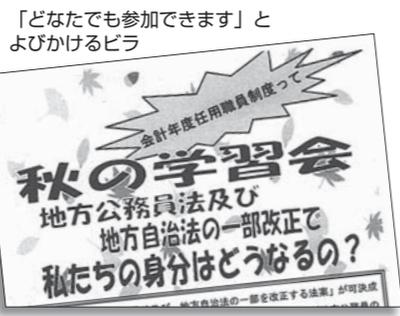
病院の前で「説明会」をお知らせ

独立行政法人化された5つの病院で約1100人の非常勤職員が働いています。府職労と病院労組は「無期雇用転換」を知らせる早朝宣伝と、非常勤職員説明会に取り組んでいます。「5年雇用は一人前になった頃に辞めさせることになり、許せない」などの声が寄せられ、加入が相次いでいます。

枚方市職労 非正規評議会「秋の学習会」で職場の仲間が加入

非正規職員評議会は10月12日に秋の学習会と定期総会を開催しました。

「地方公務員法及び地方自治法の一部改正」の学習会は、未加入職員にも案内ビラを配り参加をよびかけました。当日参加した非正規職員が組合に加入しています。加入の決め手は「入ってください」という率直な言葉でした。



「どなたでも参加できます」とよびかけるビラ

貝塚市職労 市役所全体に関わると「非正規問題学習会」を開催



関心たく50人をこえる参加でした

囑託評の学習会の参加対象を市職労役員にも広げ、「非正規問題学習会」を開催しました。法改正は非正規職員だけの問題でなく、自治体職員や自治体のあり方そのものにかかわる問題として職場に知らせること、雇用継続や処遇改善と組織拡大をつなげるたたかいをすすめることについて意思統一しました。

今月のキーワード

肩のリベンギン

名古屋港水族館で、飼育されているペンギン。6月にYouTubeに動画が公開され、清掃中の飼育員の肩に乗るかわいい姿が目撃されています。152羽いるペンギンのうち、昨年10月に水族館で生まれたアデリーペンギンのオスで、名前がつけられず「132番」とよばれています。肩に乗るのは、水槽の清掃の時、平日は開館前のため見られません。土日は2回清掃のため、14時ごろの清掃の時に来館者でも見られる場合があります。飼育員の間では、若いペンギンは好奇心旺盛のため、遊んでいるのではと言われています。ネット上ではいつでも見られますが、土日の名古屋港水族館へ足を運んでみてはいかがでしょうか。

今月のキーワード

選挙制度のゆがみ

総選挙で自民、公明の与党は、衆院定数(465)の3分の2を上回る議席をしめました。自民党は小選挙区で約2650万票を獲得、得票率は47.8%。全有権者では24.9%にもかかわらず、215議席を獲得し、全有権者の4分の1の票で、小選挙区で4分の3の議席を占める結果となっています。また、比例代表でも、自民党は約1856万票。得票率は33.2%でしかありません。自民党の議席は小選挙区制中心の選挙制度のゆがみに助けられたものであり、明らかに「虚構の多数」です。国民の多数が総選挙で安倍首相を支持し、政権を委任したわけではありません。「信任された」と称して改憲や消費税増税など、暴走政治は絶対に許されません。